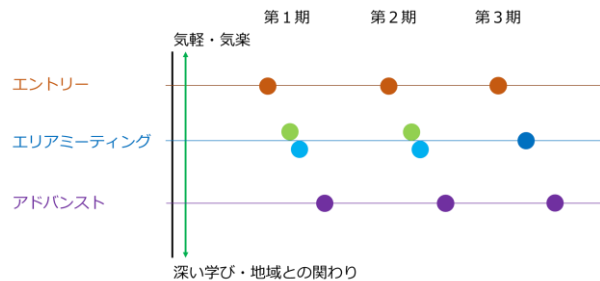


はじめに：令和 6 年度エリアミーティングについて

これまで、エリアミーティングは 1 本の線で年 3 回が結ばれてきました。今年度の開催に向けて、多摩市協創推進室より二本化する旨の提案が 6 月に入りゼミ研究室に届きました。ゼミ研究室では既に始まった第 1 回エリアミーティングと、これまでに確立された方向性との整合性について慎重に検証を重ねた結果、図のイメージに至り、協創推進室との見解の一致を確認いたしました。



図：東寺方小学区エリアミーティング構想（多摩市・中央大学 令和5年度『研究報告』をゼミ研究室にて加筆修正）

図のイメージの背景には、令和 2 年度から開催されている東寺方小学区エリアミーティングが、新たな一步を踏み出す時期に到達しているという点があります。すなわち、エリアミーティングという層から、地域運営・活動をはじめとしたアドバンストという層に接点を構築していくことが求められています。

同時に、地域の運営や活動が、今後より多くの人たちによってサポートし合える仕組みづくりに向けて、新しくエリアミーティングに参画いただける方々を対象に、エントリーの層からエリアミーティングの層に、無理なく自然につながる橋を作っていくことも重要となります。

エントリーの層の中には、エリアミーティングから生まれた地域での活動が様々な形で展開されています。「音楽・文化」グループによる「たまたま奏でる繋がるプロジェクト」や「スポーツ・遊び」グループによる大栗川沿い清掃活動「幸せの多摩拾い」、「自然・環境」グループにおける既存地域活動団体のご協力による地域を学ぶ活動などです。

例えば、「たまたま奏でる繋がるプロジェクト」を楽しまれた方々が、地域での取組についても考えてみたい、という時に参画いただける場が、図の緑色の円形で示されるエリアミーティングになり、6 月 30 日（日）に開催された第 1 回がその役割を担っていると考えられます。

第 1 回 東寺方小学区エリアミーティング 開催報告

日時：2024 年 6 月 30 日（日）10:00～12:10

会場：多摩市立東寺方小学校 ランチルーム

第 1 回は、多摩市が事前に準備したプログラムで、初めてご参加の方々、市内高校や関係者を含む 40 名ほどで楽しむ自治体シミュレーションというゲームイベントでした。ゼミ研究室メンバーも一般参加者として参画してまいりました。

自治体シミュレーションゲームは、熊本市で発案・開発・導入がなされたものとのこと、今回は多摩市に似た特徴を持つ仮想都市が設定されていました。都市名は「たまみらい市」、市職員が宇宙に連れて行かれてしまい、たまみらい市に残った住民が市職員になるというストーリーでした。

写真のとおり、1 テーブルに 5 名が着席し、全 8 グループが構成され、5 名それぞれに市総務部長などの割当てがなされました。最初に、市の 19 事業を 3 つ削減するため、ラ

ウンド 1 という事業仕分作業が行われました。その後、ラウンド 2 に入り、市長選が行われて市長が決まりました。引き続き、新市長が立候補時に公約していた事業を実現するため、他の既存事業を廃止するか、市債を発行して財源を補うかといった検討がなされました。

検討結果について、他のテーブルメンバーが議会での市議役となり、市の提案に対する質疑がなされ、最終的に拍手をもって提案が承認され、ラウンド 3 へと移りました。ラウンド 3 では、ゲーム主催者が事前に特定していた「アイスランド交流事業」などを最後まで事業として残していたテーブルにボーナスが支給され、ゲーム終了となりました。第 1 回は、かけ足で 1 つのゲームを体験するイベントになりましたが、地域について考えるきっかけになっていただければとの願いです。

さて、ゼミ研究室も、秋以降 2 年生新ゼミメンバー 16 名が新たに加わり、本共同研究事業を通じて様々な取組を進めてまいります。何とぞよろしくお願い申し上げます。

（ゼミ研究室）



写真：第 1 回 東寺方小学区エリアミーティングの様子